

< 3Dマンモグラフィ >

【当院の装置】

2017年3月よりシーメンス社製デジタルマンモグラフィ装置 MAMMOMAT Inspiration を導入し、トモシンセシス(3D マンモグラフィ)撮影が可能となりました。トモシンセシス撮影を追加しても乳房を挟む回数は従来の撮影と変わりません。また、低線量撮影技術や個々の乳房に合わせた最適圧迫機能を搭載しており、これまでよりも痛みが少なく低被ばくでの検査が実現されています。



【トモシンセシス】

Tomography (断層) と Synthesis (合成) を合わせた言葉です。当院の装置では X 線管球が -25° ~ $+25^{\circ}$ の範囲を移動する間に 25 回の撮影を行い、収集された情報は再構成され 1mm スライスごとに表示させることができます。今まで乳腺の重なりなどによって隠れて見えなかった病変が観察しやすくなりました。

